

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	桃山学区健康危機管理サポーター実行委員会
まちづくり活動名	指定避難所における健康・衛生管理活動
活動地域	名古屋市緑区桃山学区全域
活動の背景	<p>名古屋市の防災カルテによると桃山学区は市内でも比較的災害リスクが少ない地域とされていますが、地域の高齢化が進んでいることを考えると、大規模災害時には避難所を頼る人が多数に及ぶことが見込まれます。</p> <p>避難所での集団生活では、感染症の危険の他、暑さや寒さ、ストレス、エコノミークラス症候群などの健康リスクの発生が想定されます。</p> <p>これまで、地域内では避難所の開設、運営訓練は行われて来ましたが、集まった人達の健康・衛生管理のことまでは対策していませんでした。</p> <p>今のままでは、災害から逃れて避難した命や健康を守ることが難しいと考え、災害の時の対応、避難所での健康管理や衛生管理、救急活動に取り組むことにしました。</p> <p>そのために、旧緑保健所が行った災害時の健康・衛生管理の研修を受けて知識技能等を習得したメンバーが集まって桃山学区健康危機管理サポーターを組織して活動を開始したものです。</p>
目的・目標	<p>■目的 南海トラフ大地震等の災害に備え、避難所の運営、感染症対策、健康管理、救急活動等の備えをするとともに、広報啓発に取り組み地域の協力が得られる様にする。</p> <p>■目標 実施項目 ①避難所の運営 ②避難所における衛生管理 ③避難所における健康管理④災害時の救急活動 ⑤広報</p> <p>■成果 避難所を安全快適な避難場所とする。救急態勢を確保する。</p>
活動内容	<p>1. 桃山学区内の関係団体（23団体）で構成する防災ミーティングに参加して地域内の防災態勢、防災計画、防災マニュアルづくりに参画する。</p> <p>2. 桃山学区防災訓練の企画運営に参画して、災害時の救急活動、避難所の運営方法、避難者の衛生管理、健康管理の訓練を行う。</p> <p>3. 避難所の衛生・健康管理方法の確立、必要な資機材等の調達等を進め災害時の態勢を整える。</p> <p>4. 「保健セミナー」「活動紹介」等の広報の場を設け避難所の衛生・健康及び救急活動等について普及啓発する。</p>
動 期 予 定 間	令和元年6月 ～ 令和2年2月

助成金交付 申請額	5万円
--------------	-----

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大きな災害のとき、地域内の避難所へ逃れて来る人達の命や健康を守る活動であり、地域の安全に直結する活動です。 2. 避難所運営が確実に行われることで、地域の安全度が高まり、快適な地域にすることができます。 3. 今のところ、少人数のボランティアで活動しているため、資金が不足しており、活動の継続、発展には助成金等の確実性のある資金を必要としています。 4. 活動の出発点は旧緑保健所主催の「健康危機管理サポーター養成講座」終了者を中心に活動を開始し、地域内の防災活動との連携により浸透が図られてきたこともあり、地域内の支持をいただいています。
審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災訓練に運営者として参加して避難所の運営、衛生・健康管理、救護の訓練を担当すること、保健サロンを開催して普及啓発すること、地域内での広報を当面の活動としてします。 2. これまでは、活動に参加するボランティアの寄付を中心に運営してきましたが、今後は防災訓練の実費経費などは参加者負担にして貰い、助成金等を加えた資金計画を考えています。 3. 現在 8 名で活動していますが、研修等を行い知識・技能を持つ人を増やして、この仕組みの相応しい姿として学区内の全町内会にサポーターが居る様にしたいと考えています。
審査基準③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時に於ける地域内の保健・健康に関する全活動をサポートするボランティア組織として展開したいと考えていますが、当面は避難所関係の活動を中心に続けたいと考えています。 2. 学区内の保健・健康意識の向上をはじめとして、避難所運営の要領等が理解され、防災意識が高まり、災害時救急活動の態勢づくりも行われ、地域の安全度向上につながるものと考えています。

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
1. 桃山学区防災ミーティング	防災活動の連携及び防災訓練の合同運営
2. 桃山学区連絡協議会	地域活動の連携実施

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
	4	活動計画づくり	組織の活動方針作り
	5	防災訓練の準備	6月の防災訓練の具体的な進め方を確認して、準備を進める *名古屋都市センター・活動助成申請書提出
	6	防災訓練の実施 研修会参加	6月2日（日）の防災訓練に参加して啓発活動を行う 保健センター主催のレベルアップ講習に参加
	7		
	8	避難所開設訓練参加	学区の避難所開設訓練に参加して啓発活動を行う
	9		
	10	セミナー参加	保健センター主催の保健・健康意識の向上がテーマの住民を対象とする講習会に参加し啓発活動を実施
	11		
	12	研修会の開催	会員の知識習得、スキルアップ、メンバーを募るための研修会を実施
	1		
	2	年度の総括、次年度計画づくり	当年度の活動総括、次年度の活動計画等づくり *名古屋都市センター・活動実績報告書提出
	3		

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000,-
活動経費の内訳	消耗品費	事務用品	クリアブック @500×2冊 ファイル @200×10冊 コピー用紙チラシ作成用 @400×10冊 カラーペーパー @800×5冊 カラーマーカー @1500×2組 ボールペン @200×10本	16,000-
	謝金	研修会 避難所運営紹介	講師1名（交通費含む） 名古屋みどり災害ボランティアネットワーク 会員	10,000-
	物品費	防災訓練用品 （避難所使用）	健康管理用器具 体温計 @2,000×5個 血圧計 @ 20,000 ×4個 5,000 4	30,000-
		防災訓練用品 （広報用）	パネル A1サイズ @1,000×5枚 模造紙 20枚入り @2,000×2箱 5色蛍光ペン @500×1組 両面テープ @250×2個 カッターナイフ @500×2個	9,000-
	印刷費	避難所開設訓練 セミナー・研修 会用品	広報チラシ コピー代 テキスト・配布資料 コピー代	5,000-
支出合計				70,000-

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。